



## 主体的な進路選択のために

1・2年生の進路ガイダンスを実施しています(2月13日・17日・3月3日)。進路は、一人ひとりの人生に関わる大切な選択です。その選択を自分の意志で行うためには、できるだけ多くの情報に触れ、様々な人と対話を重ねることが何より重要です。生徒には、「情報の量」と「会話の量」が進路決定の質を高める鍵であると伝えています。とりわけ、ご家庭での会話は、生徒にとって大きな支えとなります。インターンシップや企業見学、オープンキャンパスなど、実際に見て、聞いて、感じる体験も大切にしながら、進路意識を育ててまいります。



## 先端技術に触れ、未来を築く

2月19日、建築科において先端技術研修会を開催しました。建築業界は人材不足を背景にDX化が加速する中、BIM(Building Information Modeling)のスキルは必須になるとされています。BIMは、コンピューター上に建物を三次元モデルとして構築し、設計・施工から維持管理までを一元的に管理する仕組みです。現場を理解し、BIMを活用できる人材を育成することが今後重要になります。一方で、教育環境の継続的な整備が大きな課題です。ICT化推進のため、ソフトウェアライセンスの確保や運用管理体制の維持など、今後も教育環境の充実に努めてまいります。

[大分合同新聞\(2026/2/25\)の記事](#) 

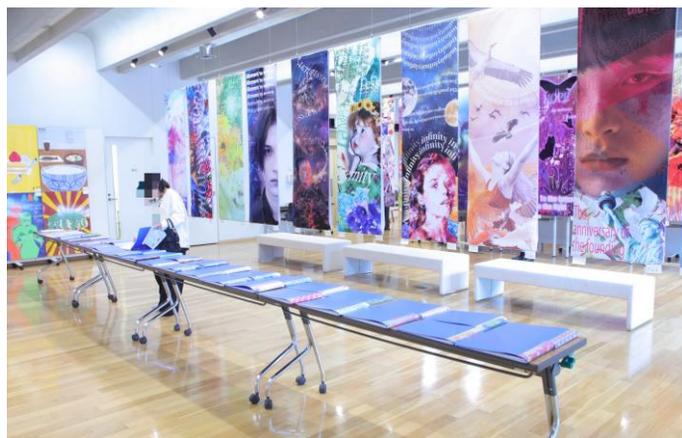


フライヤーをデザインした大野美緒さん(3D)

## 思考を形に! デザインの学びの集大成

2月20日から5日間にわたり、産業デザイン科の生徒作品展を開催しました。会期中は785名の皆様に足を運んで頂き、生徒・教職員一同、深く感謝致します。今年は、会場を荷揚複合公共施設に移しての開催となりました。準備や撤収には苦労もありましたが、多くの方にご来場頂き、大きな達成感を得ることができました。会場には、実習で制作した作品やコンテストへの出品作、課題研究の成果物などが所狭しと展示され、充実した内容となりました。見学した中学生からは「実際に見てみないと分からないことが多く、来て良かった」といった感想が寄せられました。

[OBS大分放送](#) 



3年間の授業での制作物やドキュメントをまとめたポートフォリオファイルを、熱心に関覧する来場者の姿も見受けられました。ポートフォリオは、自身の学習過程や成果を振り返り、客観的な評価から課題に気づき、改善へとつながる有効なツールです。メタ認知能力を高める効果もあります。デザインとは、単に見た目の美しさを追求するだけでなく、目的達成のために思考・計画し、目に見える形に落とし込むプロセスであることを、改めて実感できる作品展となりました。